

無痛分娩看護マニュアル

<外来>

1. 無痛分娩を検討している妊婦には、初診時、妊娠 34 週に無痛分娩可能であるかを判断する。
初診時・・・無痛分娩可否をカルテに記載、医師より説明。
妊娠 34 週・・・無痛分娩を実施するかを最終確認する。チェックリストに基づき、無痛分娩可能であれば医師から説明、同意書を渡す。
2. 妊娠 35 週～36 週時の妊婦健診で事前検査を行う。(OPE 前採血、ECG)
3. 無痛分娩実施日程を決定する。(経産婦 38 週以降、初産婦 40 週以降)
無痛分娩の説明と同意が済み、無痛分娩の禁忌ではないことを確認できたら助産師が入院後のスケジュールを説明する。
4. 入院が決定したらカルテにチェックリスト、無痛分娩指示簿を入れておく。入院予定表を記入し、2F に届ける。

<入院時（誘発前日）>

1. 誘発前日 15 時に入院。患者から無痛分娩時の麻酔同意書、陣痛誘発同意書、診察券、母子手帳、聴力検査用紙を受け取る。着替え（下着はショーツのみ、装飾品やコンタクトははずしてもらう）、アナムネ聴取。
2. 食事伝票を提出する。(無痛当日朝から禁食、以降は W セット扱いのため適宜パンプキンに電話連絡)
3. CTG で児の状態を確認する。
4. 右前腕に 20G ルートキープする。
5. 外来にて Dr.診察、必要時メトロ挿入。(経産婦は基本的に前処置なし)
6. 説明
 - ・ NRS について (用紙あり)
 - ・ 飲水、食事可能時間について
 - ・ 麻酔開始後は歩行ができないこと、体位に制限があること、導尿 3 時間毎に行うこと。

<誘発当日>

カテーテル挿入準備

物品の準備	点滴台の上
・ 経膣エコーの電源 ON にしておく ・ エフェドリン 1A、生理食塩水 20ml ・ 処置台 (オペ用ワゴン) ・ ストレッチャーを陣痛室前室に移動しておく	・ グルコジン R 消毒液 ・ 滅菌乾綿球 (3 個入り) ・ 1%カルボカイン or 1%キシロカイン 10mL1A ・ 10mL シリンジ 1 本

・救急カート	・カテーテル固定用テープ
処置台の上	メトロ挿入
・硬膜外カテーテルキット ・ピンクの防水シート 3 枚くらい ・Dr. 用滅菌手袋 ・滅菌鑷子 ・滅菌コッヘル or ペアン 1 本	・ミニメトロ、ネオメトロ ・注射用水 20mL × 3～6 個 ・クスコ

1. 陣痛室で CTG を装着し、必要時 GE を実施、再度胎児心拍モニター装着。
2. 手術室（分娩室）に移動し、血圧計、SpO2 モニター装着。

※CTG は適宜（メトロ挿入後や心拍が RFS でない時など）

生体モニター			
	カテ入れ・麻酔開始時	左記以外	分娩後
血圧	2 分毎	15 分毎	2 時間値まで 15 分毎
体温	2 時間毎		2 時間値
SpO2 センサー	継続		ポンプ停止時 OFF

3. ラクテック 500mL（50mL/h）投与開始

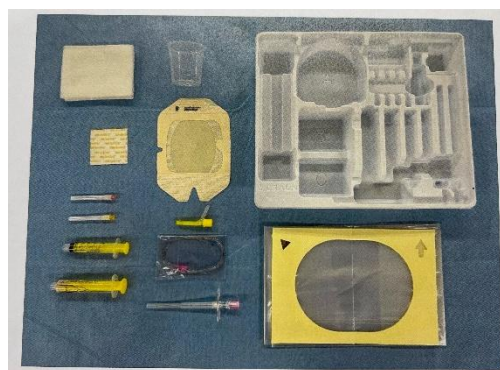
4. オペ台の淵際で側臥位の体勢をとる

- ①パジャマをまくり背中を露出
- ②産褥ショーツを臀部半分くらいまで下げ、ピンクの防水シートをはさむ
- ③妊婦の下にピンクの防水シートをはさむ

硬膜外カテーテル留置

穿刺部位：第 1 選択：L3/4、第 2 選択：L2/3

※以下処置介助する箇所は下線



1. Dr は滅菌手袋を装着。介助者は帽子をかぶる。
2. 硬膜外カテーテルセットを Dr. に渡し、綿球、消毒液を入れる。
3. 5mL 黄色シリンジに 1%カルボカイン（キシロカイン）3ml、10mL シリンジに残りのカルボカインを吸う。セット内のカップに生理食塩水 20ml をいれ、黄色シリンジ 10ml で生理食塩水を吸う。
4. 消毒し、ドレーピングする。患者の前側につき体位の介助。
身体を動かさない事、下肢に響く痛みがある場合は知らせよう説明する。
5. 1%カルボカイン（キシロカイン）で局所麻酔を行う。
6. 硬膜外針を穿刺し、抵抗消失法（LOR 法：Loss of resistance 法）で硬膜外腔に到達しているか確認。
7. カテーテルを留置し、硬膜外針を抜針する。穿刺の深さと留置長を助産師に報告、記録する。

8. コネクタを接続し、吸引テストを行う。フィルタを接続する。
9. テストドーズ（1%カルボカイン 3mL）を行い、VS の著変、明らかな血管内誤注入やクモ膜下誤注入のないこと、脊椎麻酔になっていないかを確認する。
10. カテーテルを固定する。医師がテガタームを貼ったらカテーテルを伸ばしてもらいつつ、固定テープを貼る。
11. 以降は禁飲食であること、NRS について、痛みが強くなってきたら麻酔を開始することなど説明。
12. カルテ記載

骨でカテーテルが圧迫されると、仰臥位になった時に痛みや不快感があったり、カテーテルが閉塞してしまうことがあるため、カテーテルの固定は脊柱の片側とし、脊柱をまたがないようにする。

以上無痛分娩看護マニュアルから一部抜粋

令和7年4月1日 更新